

第10回加賀家文書館特別展 好評開催中！

「義経伝説とヲ子コイチャシとチフルチャシの物語」

「加賀家文書」には、場所請負人の場所支配に関する継立御用文書、申渡書、アイヌ語和訳、和文夷文、写本、版本、書簡など多様な文書資料があります。その中には、別海町や根室地方を描いた地図や絵図なども含まれ、当時の様子を知らせてくれます。

本特別展で、ご紹介する「義経伝説」「ヲ子コイチャシとチフルチャシの物語」は、当時の伝説や物語として大変貴重なものとなっています。メナシ地方で躍動する義経、弁慶。二つのチャシの争いの物語の世界を通して「加賀家文書」に対する理解が深まれば幸いです。



●期 間 平成24年7月17日（火）
～10月31日（水）

●場 所 別海町郷土資料館附属施設 加賀家文書館

今年度の特別企画第2弾

「道東のコウモリ展」がやってくる！

根室市歴史と自然の資料館、近藤憲久学芸員のコウモリ研究の集大成とも言える「道東のコウモリ展」を当館で実施することになりました。

別海町での調査や、近年は国後島での調査も実施し、まだまだ謎の残るコウモリの生態などについてご紹介いたします。ぜひ、ご覧下さい。

●期 間 平成24年9月 3日（月）
～9月28日（金）

●場 所 別海町郷土資料館 第2展示室



ふるさと講座・自然系・特別企画！

「風蓮湖周辺の地形と地質」を実施しました。

と き 平成24年7月22日（日）午後5時～7時

と ころ 別海町郷土資料館（参加者数9名）

講師と内容

①「風蓮湖周辺に認められる地震性バリアーシステム解明計画」

七山太氏（独立行政法人産業技術総合研究所 主任）

風蓮湖周辺の特徴的な地形の説明をいただき、昨年度から実施している調査の結果や今後の調査について説明いただいた。日本でも珍しい地形であり今後予想される地震についても興味深いお話が聞かれました。



②「音波探査-音波を使って海底を探る」

内田康人氏（地方独立行政法人北海道総合研究機構地質研究所 主査）

音波探査調査で何がわかるのかという内容で、風蓮湖の地層や堆積物について調査するというお話でした。現在海中の活断層の広がりなどもこの音波探査で調査しているということでした。

※参加者からは、年1cmづつ沈下している当地方や野付半島の侵食を食い止めるには、過去に起った津波の痕跡は確認されているのか？などの質問が多く、講師の方の見識が深く懇切丁寧に質問に答えていただきました。現在、七山氏を中心として風蓮湖周辺の地質調査が行われその成り立ちが解明されようとしています。このことは、今後予想される地震や地形の変遷を考える上でも重要なことで調査の結果も報告いただく予定です。

ふるさと講座・自然系第3回目「コウモリ観察会」を実施しました。

と き 平成24年7月27日（金）午後6時30分～9時

と ころ 国指定史跡 旧奥行臼駅通所（参加者数25名）

講師 近藤憲久氏（根室市歴史と自然の資料館学芸主査）森利博氏
駅通内で、道東地方のコウモリのお話を聞いた後、駅通裏に移動し、設置したかすみ網の前でコウモリが飛び立つのを待ちました。日が暮れると、かすみ網に一齐にコウモリがかかるようになり、網からはずす作業も大変でコウモリが網を食いちぎろうとしている様子もじっくりと観察出来ました。捕獲後、室内にて、種別同定、計測などを行い、捕獲されたコウモリは、ホウヒゲコウモリ、ウサギコウモリということがわかりました。参加者はまじかで、コウモリを見て、写真を撮ったり、翼手にさわったりと子供も大人も大興奮した観察会になりました。



別海町郷土資料館だより No.157

発行日 平成24年8月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町 30 番地

電話 0153-75-0802（FAX 兼）

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

やっと夏という季節を実感出来るようになってきました。この際なので、どんどん気温が上がってくるのをお願いします。さて、この時期に集中して観察会や展示会が目白押しになります。9月に入ると2つの特別展を同時に見ることが出来ますので、ぜひ、ご来館ください。（K.I）